

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の
屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。
屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには
使用しないでください。

施工説明書

美しさと強さの

TOYOTEX

目透かし施工が標準です

- 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- 取扱説明書は必ずお客様にお渡ししてください。（施工完了後、使い方を説明してください）

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。



注意



必ず守る

接着剤を使用する際は、換気を十分に行う

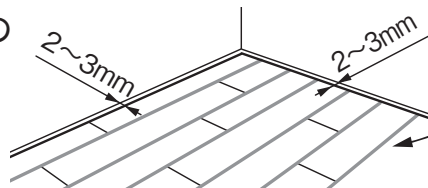
健康を害するおそれがあります。

●必ず 仮並べ をしてから割り付けをする！

施工前に仮並べを行い、色・柄に適度なばらつきを持たせ、貼り上がりを確認してから、施工（固定）をしてください。色・柄や仕上がりにおきまして、施工後の責任は負いかねますのでご了承ください。

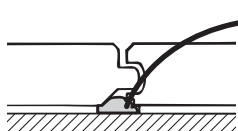
施工上のご注意

- ①壁の周囲に2～3mmのすき間を必ずあけてください。



- ②床材の長手ジョイント部はきつく締めすぎないでください。長手方向をきつく締めすぎると、踏み鳴りが発生する場合があります。

- さねをかん合する場合にはハンマーなどで無理にたたき込んだり、足でけったりしないでください。
- さねかん合部には、施工用接着剤が付着しないように施工してください。

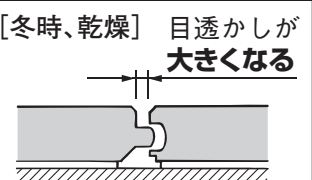
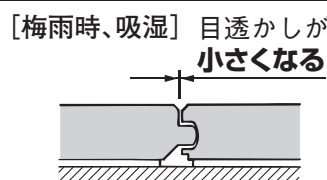
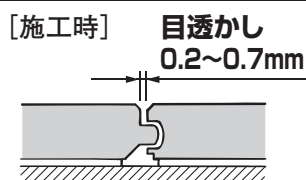


※さね部分に接着剤が付着すると床鳴りの原因になります。また、短手に接着剤が付着すると、寸法変化を吸収できません。

- 施工、切断作業の際は、防じん対策をとってください。必要に応じて、保護マスク、保護メガネを着用してください。
- 防音性能確保、床鳴り防止のため、接着剤が硬化するまでは、床材の上に乗らないでください。特に短手さねかん合部には乗らないでください。
- 短手の貼りじまいは無理に納めないでください。
- 本製品に別のフローアを重ね貼りしないでください。防音性能を発揮できなくなる場合があります。

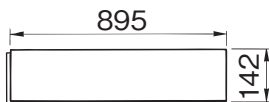
短手ジョイントの目透かし施工について（床材の湿気による伸びをさね部で吸収）

目透かしを作る仕様になって
います。
（目安：目透かし約0.2～0.7mm）



7 製品仕様

〔寸法単位：mm〕



サイズ(mm)	142×895×13.5
梱包入り数	1ケース 24枚入り(3.05m ²)
同梱部材	ボード(3mm厚、2.5mm厚 各1枚際根太に使用)
床暖房対応	ガス会社推奨タイプ「温水マット床暖房 小根太なし」のみ対応 ※上記以外の床暖房方式…「根太間タイプ」、「フィルムヒーター式」、 「コンクリート埋込式」などには使用できません。

■施工に必要なもの

接着剤	仕様	ご注意
コニシ (株) 製：KU928R (S/W)	1液型ウレタン系接着剤・低VOC対策品 ○オープンタイム…塗布後5～15分 ○可使時間………夏場30分 冬場60分 ○塗布量………0.6～0.7kg/m ²	1) 接着剤の説明文、注意事項をよくお読みのうえ、正しく施工してください。 2) 硬化後は除去できませんので、床材に付着した場合は、乾いたウエスまたはシンナーを染み込ませたウエスなどで、すぐにふき取ってください。 (不具合の原因となりますので、床面にシンナーをこぼしたり、目地部を強くこすらないでください。)

※必ず専用接着剤をご使用ください。(エポキシ系接着剤は使用しないでください。)

2 施工前の確認

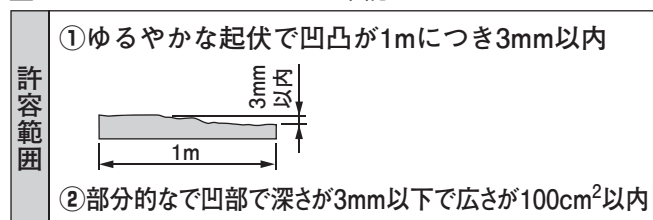
※必ず下記のことを確認してください。(確認しないと、沈み・床鳴り・浮きなどのトラブルの原因となります。)

- クッションフロアー、直貼り床材の上には施工できません。
- 二重床、ころばし根太施工の仕上材として施工できません。

モルタル下地の場合

1. 下地表面の確認

- ☐ 部分的な起伏・モルタルの浮き・亀裂がないことを確認
- ☐ ほこりなどがなく、平滑であることを確認



2. 乾燥度の確認

- ☐ 通常の条件下で最低3週間以上の乾燥期間をとっていること
- ☐ 含水率が7%以下になっていること

最も乾燥しにくい部位の下地表面に1m×1m程度のポリシートを置き、四周を布テープ(ガムテープ)で止め、空気が逃げないように密着し、24時間以上放置後、シート下のモルタル面が黒くならないことを確認。

ALC(軽量気泡コンクリート)下地の場合

※ALC板に直接施工しないでください。

(ALC板は表面がもろく、施工後、はく離のおそれがあります)

ただし、モルタルなどで下地調整を行った場合は施工できます。

※亀裂などの防止のため事前にALCメーカーと下地調整の確認をしてください。

※「モルタル下地の場合」の事項を確認してください。

合板下地・その他の場合

1. 下地の確認

- ☐ 合板下地に施工する場合、下地根太は5寸ピッチであること(ただし転ばし根太は禁止)
 - ☐ 下地合板は厚さ12mm以上であること
- ※木造在来工法などに施工する場合

2. 水平の確認

- ☐ 接合部の段差は1mm以内であること
- ☐ 接合部を踏み付けた時の段差は1mm以内であること

3. 床鳴り・浮きなどの確認

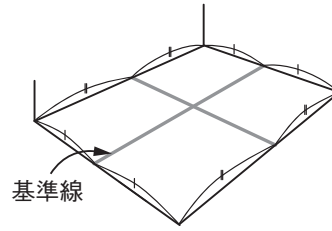
- ☐ 床鳴り・浮きのないこと

3 施工のしかた

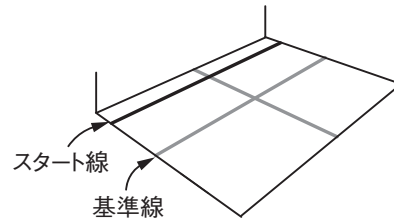
[寸法単位：mm]

1 割り付け・墨打ち

1. 部屋の2方向の中央に墨出しし、基準線を引く。



2. 廊下など周辺の割り付けを考慮し、基準線を平行移動し、スタート線の墨出しを行う。



3. 床材の長さを考慮して、割り付けを行う。

※床材の施工距離が長い場合(玄関～廊下・リビングなど)、
湿気により床材が伸び、波打ち、突き上げなどが起こる場合があります。
床材の伸び対策として見切り材を施し、すき間を十分確保してください。
(床材の縦継ぎは、最大10枚が目安です。)

2 際部の納めかた

床材の沈み防止と床材の伸びを吸収するために、下記の通り施工してください。

突き付け施工
框・見切り材

すき間施工
壁際

沈み防止処理

【際根太の取り付け方法】

部屋の四周に際根太を貼る

隙部には幅80mm以上の製品を施工してください。
80mm未満だと、さねが折れる危険性があります。
やむを得ず幅80mm未満の製品を施工する場合は、
右図のように製品幅+20mm程度の幅の隙根太を
取り付けてください。

幅80mm未満の製品を施工する場合

※框・見切り材部など人の出入りの多い個所には沈み防止処理として、上記方法で施工を行ってください。

※片側を突き付け施工する場合には、必ず反対側にすき間を設けるようにし、すき間は幅木またはシーリングにて隠してください。

3 施工のしかた

3 床材の貼り付け

仮並べをして、色柄のバランスを確認してください。

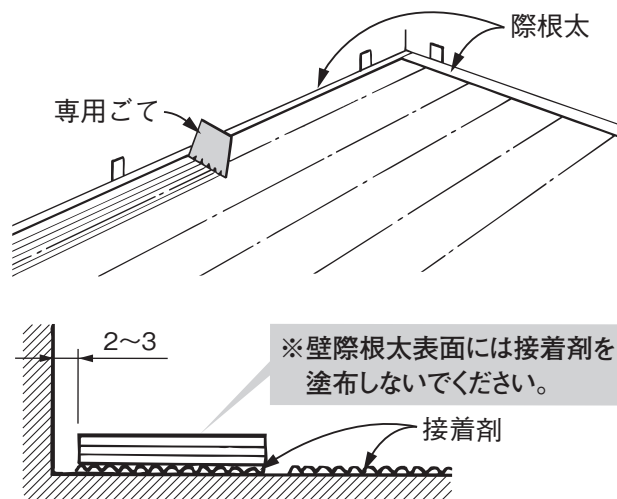
色・柄や仕上がりにおきまして、施工後の責任は負いかねますのでご了承ください。

1. 接着剤の塗布

接着剤を一行毎に塗布する。

注意

- 必ず専用の接着剤を使用してください。
(専用接着剤以外のものを使用すると、接着不良や床鳴りが発生することがあります)
- 床材に接着剤が付着した場合、硬化後は除去できませんので、乾いたウエスまたはシンナーを染み込ませたウエスなどですぐに取り除いてください。
(不具合の原因となりますので、床面にシンナーをこぼしたり、目地部を強くこすらないでください)



2. 床材の貼り付け

1. 床材を切断する。

2. 雄ざね側を手前にして壁に向かって右隅から貼り始める。

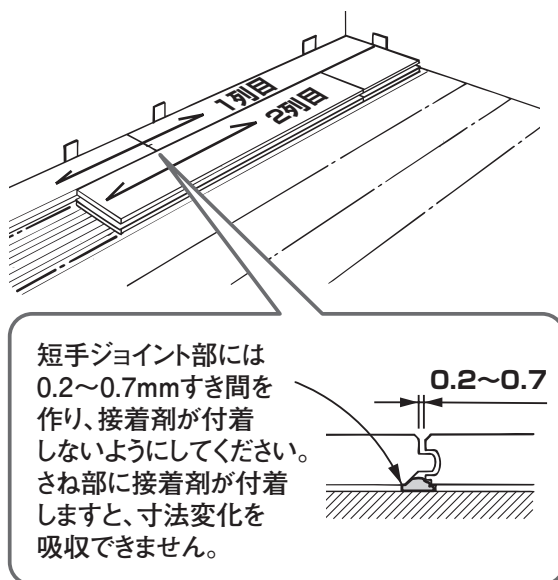
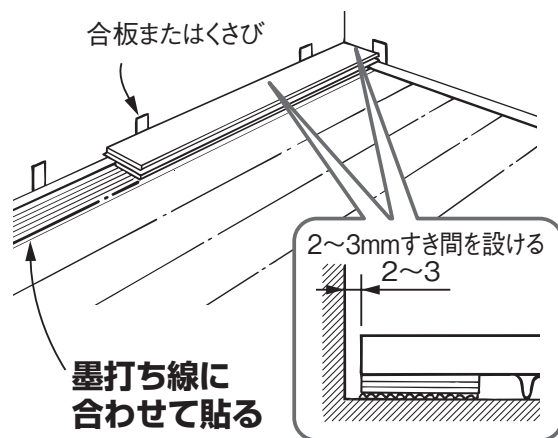
※付属の合板または、くさび(現場調達)で壁際から2~3mmのすき間を設ける。

3. 床材と下地が確実に接着していること確認する。

4. 2列目以降は1尺または1.5尺ずらしのりゃんこ貼りで施工する。

注意

- 床材が浮く場合は、重石を置いて約1日圧着してください。(短手かん合板は押さえないでください)
- 突き上げや踏み鳴りの原因となりますので、さねを差し込む際は、ハンマーなどで無理にたたき込まないでください。

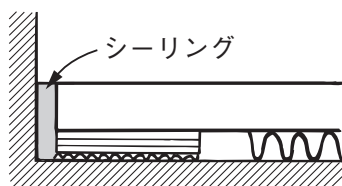


3. 壁際のすき間処理

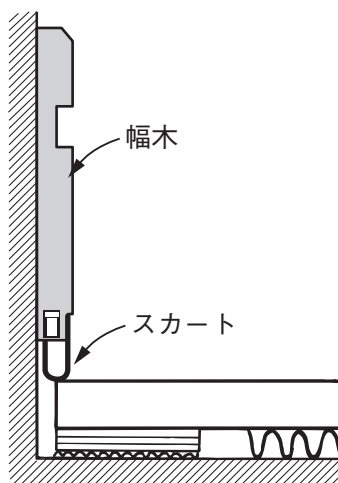
1. 1日後、すき間確保用の合板・くさびを取り外す。

2. 幅木またはシーリングですき間を隠す。

■シーリング



■幅木



4 養生

- 施工後、表面の傷、浮き上がりを確認してください。
- 施工後は傷や汚れを防ぐために、ビニールシート・発泡シートなどの養生シートを敷き込んでください。さらに、その上に段ボールや合板を敷いて、十分に養生してください。

注意

- 養生テープは床用養生テープを使用してください。
ガムテープや両面テープを使用されますと、床材表面のはがれや変色が起こる場合があります。
- 養生シートは必ず床全体を覆ってください。
養生シートで覆われていない部分が変色する場合があります。
- 養生中に雨水やペンキなどが養生シートにかからないように注意してください。
しみ込みにより、床材表面に汚染、ふくれなどが生じることがあります。

チェックシート

- この製品はワックス掛けをしなくても、美しさが長持ちします。
表面保護のためワックスを掛けることも可能ですが、ワックスの皮膜により表面性能が発揮できなくなりますので、ご了承ください。
 - 必要な場合は使用方法を守り、ワックスを直接床にまかない。
(ふくれ、変色、ムラなどの不具合発生の原因となります。)
※ワックスを掛ける場合の推奨品：リンレイ「ハイテクフローリングコート」「ハイテクフローリングコートつや消し20」
- 下記の表に従い、施工の仕上がりをチェックしてください。

チェック項目	チェック
表面に傷や汚れはありませんか？	
床用養生テープを使用していますか？	
養生シートで床全体が覆われていますか？	